22 草地関連基盤整備 <公共>

【令和7年度予算概算要求額 395,156 (332,623) 百万円の内数】

く対策のポイント>

草地に立脚した力強い畜産経営の展開を図るため、国産飼料の生産拡大や畜産主産地の形成に資する基盤整備を推進します。

<事業目標>

- 飼料自給率の向上(25%「平成30年度]→34%「令和12年度まで])
- 飼料作付面積の拡大(89万ha [平成30年度] →117万ha [令和12年度まで])

く事業の内容>

1. 大型機械化体系に対応した草地整備

大型機械による効率的な飼料生産を推進するため、**排水不良の改善や傾斜の 緩和等の草地整備**を実施します。

【主な工種】暗渠排水、起伏・勾配修正、草地の区画整理 等

2. 泥炭地帯における草地の排水不良の改善

効率的な飼料生産基盤を形成するため、土壌の特殊性に起因する地盤の沈下による**草地の湛水被害等に対処する整備**を実施します。

【主な工種】整地、暗渠排水、排水施設等

<事業の流れ>

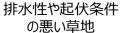


※1 中山間地域において荒廃農地の整備、面的拡大等を図る場合に国費率を55%

※2 2の事業は直轄で実施(国費率3/4)

く事業イメージ>

飼料生産の基盤整備<整備前> 排水性の悪い草地 はたいはいたでは、





基盤整備による効果



飼料作物の収量 増加



大型機械での効率 的な収穫による 生産コストの削減



酪農における 生乳生産の省力化



飼料生産基盤の 強化を通じた 自給飼料の増加

[お問い合わせ先]

(1の事業) 畜産局飼料課

(03-6744-2399)

(2の事業)農村振興局防災課(03-3502-6430)